立教大学学術推進特別重点資金（立教ＳＦＲ）
在外研究
２０１５年度研究成果報告書

研究代表者	所属部局･職		氏　名	
	観光学部交流文化学科・教授		舛谷　鋭　　印	
研究課題	東南アジア華人研究：言語文化を中心に			
全研修期間	14 年　9 月　20 日　～　15 年　9 月　20 日（366 日間）			
経　　費	年度	SFR 申請額	所属学部からの補助額	SFR 助成額
	2014 年度	1,692,860 円	850,000 円	842,860 円
	2015 年度	1,238,440 円	850,000 円	388,440 円
主な滞在国及び研究機関名	国　名	研究機関名		
	シンガポール	南洋理工大学		

研究成果の概要（図・グラフは使用しないこと）

人の移動の代表的事例のである華僑華人は、8 割以上がアセアン地域に集住するが、彼らの言語文化、特に民族語・華語（中国語）の創作表現と関連史資料のうち、特に一次資料を、世界的な当該資料集積地であるシンガポールの研究機関、文書館で総合的に把握することができた。

東南アジアの中でも資料収集の規模と利用環境の良さで群を抜くシンガポールだが、最近の資料については、東南アジア華人の最高学府だった南洋大学を継承する南洋理工大で所属研究者として、20 世紀を中心としたシンガポール独立前後の資料については、シンガポール国立大学、国立図書館、国立公文書館などに閲覧利用者として通い、収集を行った。

シンガポールは地政的、設備的にアセアンのハブであり、任地大学から国境までわずか 20 分の距離である。こうしたアクセスの良さを、ヨーロッパにおけるイギリスに擬する向きもあるが、申請者の過去 20 年間の東南アジア華人研究の成果と人脈を踏まえ、シンガポール、マレーシアを中心に、20 世紀以降の Sinophone Literature である「馬華文学」研究について、しばしば近隣の大学、学会、研究会に招聘され、国際的な議論が実現できた。国際会議によっては、パネリストが全員違う地域からで、このテーマのグローバルな研究動向や、既存テーマの位置付けが有益な情報収集、理解ができた。

研究成果の概要（つづき）

こうした国際的な議論の場で得られた視座と一次資料を手元で確認し、これまでに整理、研究して来た自らの業績も含む先行研究と参照し、端的に「三年八ヶ月」とも呼ばれる日本軍政期（1942-1945)、および戦直後期研究を中心に、先行研究の批判と研究事情の確認および解釈を進めた。さらに、世界文学の研究において、ポストコロニアル文学の後の大きなトピックの一つになりつつある"Sinophone Literature"の意味と意義について、把握することができた。

以上のように、当該研究分野を精緻化し、より魅力的な学問分野の構築に向け、図書館蔵書状況から本学独自とも言えるアジアのポストコロニアル文学研究、および人の移動研究としての交流文学研究進めることができた。

キーワード（研究内容をよく表しているものを５項目で記入）

〔華僑華人〕〔東南アジア〕〔マレーシア〕〔シンガポール〕〔馬華文学〕

研究発表（研究によって得られた研究経過・成果を発表した①～④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。）
①雑誌論文（著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ）
②図書（著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数）
③シンポジウム・公開講演会等の開催（会名、開催日、開催場所）
④その他（学会発表、研究報告書の印刷等）

②『シンガポールを知るための 65 章　第 4 版』［共著］　明石書店　2015
①「シンガポールのスタディツアー」『観光研究所だより』12-2　2016.2（p.8）
①「海域学としてのインドネシア華人研究」『なじまぁ』6　2016.3（pp.12-13）
①シルビア・シエン「私の代わりにあやまっておいてください」翻訳『東南アジア文学』14 2016.3
④Asian Colonial Heritage as Dark Tourism sites.　International Conference on natural Resource Tourism and Service Management (Kota Kinabalu, Malaysia)　2015.4
④Cultural Heritage as Sustainable Tourism Resource　15th Science and Technology for Culture (Siem Reap, Cambodia)　2015.5
④War Memory and National History: from Dark Tourism Dimention.　The Asian Asscociation of World Historians Comgress 2015 (NTU, Singapore)　2015.5
④Images of the Maritime Chinese in the writings of Oey Tong Pin and Pramoedya Ananta Toer. The Maritime Order and Social Integration in Southeast Asia International Workshop (NTU, Singapore)　2015.6
④Dark Tourism to testify the resilience of Southeast Asia Experience in Japanese Occupation. ICAS9 (Adelaide)　2015.7
④日本の「聖地巡礼」観光というコモディティ化　中日韓朝言語文化比較研究国際シンポジウム（延吉）2015.8
④シンガポールの戦争の記憶とダークツーリズム：ナショナルアイデンティティをめぐって東南アジア学会関東例会　2015.10
④企画・運営　當代漢語文學的〝概念與思潮〞國際學術研討會（現代中国語文学「概念と思潮」国際シンポジウム、使用言語：中国語）　立教大学観光学部交流文化学科（共催：台北大学、元智大学）　2015.11
④企画・運営　国際シンポジウム　現代マレーシアの舞台芸術と文化政策　日本マレーシア学会、立教大学アジア地域研究所　2015.12
④Image of Indonesian Chinese in the writings of Oey Tong Pin and Pramoedya Ananta Toer.　The 3rd International Conference on Chinese Indonesian (Jakarta) 2016.3

※この（様式２）に記入の、成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書（Ａ４縦型横書き１枚・自由様式）を添付すること。